



ボーイスカウトの皆さんが作務(草取り)、写仏、読経を体験しました
この経験を社会のために、自分のために活かしてほしいものです

平成30年7月
第8号

住職の一言

阿部雄峰

お盆が巡ってきて、ご先祖様のお墓参りをするか、お仏壇の前で合掌するか、何もしないか、それは人さまごまです。しかし、この時期になると否応なしに別の世に住む肉親の、あの時この時が思い出されるものです。思い出して懐かしさに微笑む人、生きている間にああしてあげたかった、こうしてあげたかったと悔やむ人、あの時あんな仕打ちを受けたと今更うらめしさを蒸し返す人：皆、故人を決して忘れてはいないということでしょう。

中にはわざわざお墓を磨きに行ったり、お線香をあげたりしなくても、こうやって故人を忘れなければ立派な供養になる、と割り切っている人もいるのではないのでしょうか。しかし、「自分は」ああしてあげたかった、「自分としては」あの人のああいうところを良く思っていない：これらの考えは自分本位の考えでしかありません。自分自身の思いを捨て去り、ひたすらに故人をしのぶことが大切なのではないのでしょうか。

お釈迦様は、この世のありとあらゆる悩みは、人や金銭や物への尽きない執着から生まれるとおっしゃいます。現世で起こった過去への執着から抜け出し、あの人は今、別の世で何を望んでいるのか、相手本位、ご先祖第一に考えて、自分を忘れる。実際には容易なことではありませんが、お盆の時期、我欲、執着から離れ、ただひたすらに故人をしのびお線香をあげてみてください。そうすると、あなた自身が仏さまの心となり、きっと心の自由を得ることになるでしょう。

合掌

仏さまは本当に

来てくださるのか

世の中には、理屈に合わないことは一切信じない、という人がいるものですが、その中にも、お墓やお位牌や精霊棚について疑問を抱いている人がいます。

一年のうちは何度もお墓参りに行き、自宅のお仏壇にはお位牌を並べて朝夕手を合わせ、その上、お盆には別に精霊棚を設ける。なぜそこまでしなければならぬのか。仏さまの方も、お墓やお位牌や精霊棚のかけもちでご供養を受けるのはわずらわしいのではないかと。お墓ならお墓、と一か所をご供養の場と定め、そこに仏さまがいてくだされば、墓前で心を込めたご供養をするだけで足りるのではないかと、このように考える方もいらっしゃいます。

この問いに対する答えを考える前に、私たちは、ここにお掛けください、という劇場の指定席と同じものを、仏さまに押し付けて良いものだろうか、という疑問を抱いたほうがよさそうです。

お墓ならお墓を、仏さまの居場所と決めてしまうことは、現世の人がすることではありません。お墓にしる、お仏壇にしる、それらはみな、仏さまがいらっしゃることにしるしであって、お墓や塔婆やお位牌があることにより、私たちは、今は亡き人の霊と触れ合い、ご供養をすることができているのです。

ある日ある時、あなたは、故人が愛用していた茶碗を取り出し、その茶碗に盛ったご飯をおいしそうに食べていたなつかしい人の姿をありありと見るかもしれません。

また、川のほとりや林の中で、あなたの方を向いてにこにこしたその人の面影に再会しないとも限りません。

そういう時、そこには仏さまが帰ってきてくださったのではないのでしょうか。

お盆の精霊のお迎えや霊祭りのとき、遠いところから、亡くなった方の霊が来てくださるのは、この世にお墓やお位牌があるからではなく、むしろ、霊が帰ってきてくださることを確かめるためにこそ、お墓やお位牌を私たち自身が必要としているからなのです。

あの世とこの世、現世と来世は別の世界であっても、実はちゃんとつながっております。

お盆は、そんなことを実感することのできるまたとない機会の一つなのです。さあ、心安らかに、ご先祖さまの霊をお迎えしましょう。



お寺で法話を聴きませんか

このたび、延命寺に曹洞宗本庁からの派遣布教師様が来られることになりました。なかなか聴くことのできない特別な法話の会です。会費は不要ですが、席に限りがありますので事前にお申し込みください。先着順になります。

【日時】

九月二十二日(土)

午前十時十五分〜開講式法要

十時三十分〜法話

十二時 終了

【会場】 延命寺 本堂

【特派布教師】北海道 正覚院ご住職

松村直俊老師



マイお茶碗づくり

文化講座の一環として、東京で活躍中の講師をお招きし、オリジナルのお茶碗を作るワークショップを開催します！

まっしろな器にいろいろなデザインの世界を切り貼りして窯で焼くことで世界に一つしかないお茶碗を作成します。作業は簡単なので、小さいお子様でも参加できます。ぜひご家族で夏の思い出作りにいらしてください。プレゼントにもおすすめです。

事前にお電話かホームページの問い合わせページからお申し込みください。

【日時】

八月二十五日(土)

① 十時半 ② 十三時半 ③ 十五時半

【作成費】(材料費・焼成費込み)

大人：二千五百円

子ども(小学生以下)：二千円

親子(大人+子ども)：四千元

※受け渡しは約三週間後となります

ホームページリニューアル

延命寺のホームページがより見やすくリニューアルしました。お寺の歴史や年間行事など、情報も満載です。過去の寺報もご覧いただくことができます。

お寺の最新情報はホームページ、またはフェイスブックで発信しております。ぜひのぞいてみてください。

風鈴供養受付中



蒸し暑い日が続きますが、本堂では風が吹くたびにたくさん風鈴が涼やかな音色を響かせています。

風鈴供養にお申込みいただいた方は、毎朝のお勤めの際に一霊づつ供養させていただきます。

お申し込みはお電話でも承ります。(一霊千円)

精進ごはんレシピ



見た目はそっくり。
真ん中に線を入れるのがコツです。

[うなぎのかば焼きもどき]

材料 (4人分)

じゃがいも…2個 海苔…1枚 A (みりん…大さじ3 醤油…大さじ3 砂糖…適量)
揚げ油…適量 ごはん…適量 粉山椒…少々

作り方

- ①じゃが芋はすりおろし、軽く水気をきる。
- ②海苔は1枚を8等分に切り、①を薄く敷くようにのせる。
- ③鍋にAを入れ、火をかけ、合わせてたれをつくる。
- ④170℃くらいに熱した油のなかに、②を入れ、表裏返しながらきつね色に揚げる。揚がったら、タレに浸す。
- ⑤器にご飯を盛り、その上に④をのせ、残ったタレをかけ、好みに粉山椒をふる。

編集後記

今年梅雨が早く開けて暑い日が多いと聞いております。健康に充分気を付けましょう。
特に、お盆には亡き人・ご先祖様が帰ってこられます。家族皆が健康で迎えてくれたなら、亡き人・先祖も喜ばれるはず。つまり、健康管理をすることは、自分のためだけでなく、亡き人・先祖の供養になるということです。

お知らせ・募集

◆お守り作りの会

毎月第四土曜日 午後一時～(八月はお休み)
檀信徒の皆様にお配りするお守りを一緒に作ってくださる仲間を随時募集中です！

◆寺子屋講座「法話と写経」

(開講日) 毎月第三土曜日
午後一時～午後三時半
(受講料) 初回千五百円、二回目以降千円
子供無料
般若心経の法話、簡単なイス坐禅、写経。
子供は写仏。
受講を希望される方は、お寺までご連絡ください。

青林山 延命寺

☎ : 490-1115 愛知県あま市坂牧郷 30

☎ : 052-444-0109

※月参り・命日のお参りなど随時受け付けております。

<http://www.seirinzan.com> 検索は青林山延命寺